

宮城県感染症発生動向調査情報

令和元年7月11日発行

2019.7.1～2019.7.7 第27週

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	患者数	累計	第24週	第25週	第26週
水痘		4 0.40	6 1.20	1 0.50	3 1.00	3 0.60	2 1.00	8 0.30	27 0.47	906	○	レ	○	○
流行性耳下腺炎	1 0.25	2 0.20	2 0.40	1 0.50	3 1.00		1 0.50	5 0.19	15 0.26	136				
感染性胃腸炎	14 3.50	19 1.90	17 3.40	6 3.00	8 2.67	29 5.80		268 9.93	361 6.22	9,514	◎	◎	◎	◎
手足口病	9 2.25	10 1.00	12 2.40	2 1.00	1 0.33	17 3.40		102 3.78	153 2.64	382			○	◎
伝染性紅斑	2 0.50	3 0.30	8 1.60			18 3.60	3 1.50	2 0.07	36 0.62	2,522	○	○	○	レ
突発性発しん		3 0.30	8 1.60		2 0.67	2 0.40	2 1.00	16 0.59	33 0.57	754	○	○	○	○
ヘルパンギーナ	6 1.50	8 0.80			1 0.33	5 1.00		14 0.52	34 0.59	88				○
インフルエンザ			1 0.13						1 0.01	30,390				
咽頭結膜熱		3 0.30	1 0.20		2 0.67	1 0.20		13 0.48	20 0.34	434	レ	○	○	レ
流行性角結膜炎									0 0.00	71				
急性出血性結膜炎									0 0.00	4				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40 10.00	20 2.00	5 1.00	5 2.50	4 1.33	101 20.20		56 2.07	231 3.98	5,456	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	2				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎				2 2.00			3 3.00		5 0.42	97				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	8 2.00	4 0.40				1 0.20		16 0.59	29 0.50	814	○	○	◎	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	29				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)			1										
	川崎病													
	不明発しん症							8						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告)はありません。

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

栗原管内 男性1名
 仙台管内 女性1名
 結核(無症状病原体保有者)
 大崎管内 男性1名(第20週)、女性1名(第21週)、
 男性1名、女性1名
 気仙沼管内 男性1名
 仙台管内 男性1名、女性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

大崎管内 男性1名
 栗原管内 男性1名

4類感染症: E型肝炎

大崎管内 女性1名
 レジオネラ症
 石巻管内 男性1名(第26週)、男性1名
 仙台管内 男性4名

5類感染症: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

仙台管内 女性2名
 梅毒
 仙台管内 男性1名(第26週)、男性1名
 百日咳
 塩釜管内 男性1名
 仙台管内 男性1名、女性2名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

〔水痘〕
 大崎管内で注意報レベルを継続中です。
 登米、気仙沼管内で注意報レベルを超えました。
 〔伝染性紅斑〕
 大崎、石巻、気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
 〔A群溶血性レンサ球菌咽頭炎〕
 仙南、石巻管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

A型肝炎患者より
 大崎管内 第23週採取分 A型肝炎ウイルス 1件
 感染性胃腸炎患者より
 塩釜管内 第27週採取分 ノロウイルスGⅡ群 5件
 大崎管内 第27週採取分 ノロウイルスGⅡ群 4件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第24週採取分 (6.10～6.16)	第25週採取分 (6.17～6.23)	第26週採取分 (6.24～6.30)
RSウイルス	2件	1件	3件
ヒトメタニューモウイルス	1件	3件	1件
アデノウイルス	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	3件	0件	0件

4. 今週のコメント

【レジオネラ症】

今週のレジオネラの患者は6名で、6週連続での発生報告がありました。2019年の県内患者報告数は合計35例となっています。レジオネラ属菌は土壌や環境水中に生育する菌で、エアロゾルが発生する環境(冷却塔、噴水、ジャグジー等)や循環水を利用した風呂などが、感染原因になりやすいと考えられています。50歳以上の男性に発症者が多く、高齢者は特に注意が必要です。肺炎またはインフルエンザ様の症状が長引く場合は、必ず医療機関を受診してください。

【手足口病】

乳幼児を中心に、手や足、口の中などに水疱性の発疹ができる急性ウイルス性の感染症です。夏季に流行がみられ、大人にも水疱性発疹のほか、夏風邪やインフルエンザと似た症状を引き起こすことがあります。県内では先週に比べ患者数が増加し、特に仙台管内での増加が目立っています。警報レベルには達していませんが、今後の動向に注意が必要です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
 電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
 HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

